

ASSOCIATION OF
MUSICAL ELECTRONICS INDUSTRY

AMEI

News

2003年4月7日発行

Vol.21

第6回NAMMビジネスツアー実施



第6回NAMMビジネスツアーは平成15年1月15日から21日まで、15名の参加協力を得て実施された。

今年はMIDI規格誕生20年として各種イベントをAMEIで計画されているが、これに先立ちMMAでもNAMM会場にブースを持ちオークションなど独自の企画を展開中であつた。

CONTENTS

- 「MIDI規格生誕20年を迎えて」..... 2
- MIDI 20周年記念イベント..... 3
- NAMMツアーレポート..... 4・5・6
- MIDI検定試験レポート..... 7
- AMEI会員名簿、MIDI 20周年記念総会+パーティの案内..... 8

AMEI NEWS Vol.21 / 2003.4.7

社団法人音楽電子事業協会 機関誌

発行：社団法人音楽電子事業協会 事務局

〒101-0061 東京都千代田区三崎町2-16-9

イトービル4F

TEL. 03-5228-8550 FAX. 03-5228-8549

発行人：中田 健

編集人：福田 誠(広報委員会)

編集協力：株式会社 ラプラス

ホームページアドレス：<http://www.amci.or.jp/>

社団法人音楽電子事業協会

「MIDI規格誕生20周年を迎えて」

MIDI規格が誕生して今年で20周年を迎えるにあたって、この規格の生みの親とも言うべき、元シーケンシャル・サーキット社(米国)のデーブ・スミス氏よりメッセージが届きましたので、ここに掲載いたします。

このメッセージの掲載は、MIDI規格委員長の加藤世紀氏のお取り計らいにより実現したものです。

(広報委員会)

【原文】

It is hard to believe that MIDI is 20 years already. And, it is still version 1.0! I still remember working with Roland, Korg, Yamaha, and Kawai to develop the original specification back in 1982; it was a very good collaboration between companies in both countries in the days before email. It was a thrill to first connect the Prophet 600 with the Roland JX-3P at the January 1983 NAMM show, and have it work perfectly.

MIDI is used every day, in every professional studio in the world, in home studios, on the stage, and it is in virtually every computer made today. Soon it will be in every cell phone. It is amazing to me how well it has adapted to new technologies over the years.



The future of MIDI is more difficult to predict, since it will take a lot of organization and teamwork to develop a new version. With so many companies involved, it will be a very slow process. But, MIDI seems to continue to cover 99% of applications in its 1.0 form. And, in the computer environment, MIDI is "virtual", so there are no speed limitations anyway.

Thank you to the AMEI and the MMA for their continuing work on MIDI! This is a very important job, and I look forward to another successful 20 years of MIDI!

Dave Smith St. Helena, CA

【和訳】

MIDIが誕生してすでに20年が過ぎたとは、信じられないくらいです。しかも未だにバージョン1.0とは。思い起こせば1982年に、ローランド、コルグ、ヤマハ、カワイの各社と共に基本仕様を策定していた時のことを今でも思い出します。当時はまだ電子メールなど無かった時代でしたが、両国の会社同士の協力関係はとても良いものでした。1983年1月のNAMMショーでProphet600とローランドのJX-3Pとを最初に接続して、しかもうまく動いた時は心から感動したものです。

MIDIは毎日、世界中のプロ・スタジオで、ホーム・スタジオで、またステージで使われており、しかも最近のほとんどのコンピューターにも使われています。しばらくすると、どの携帯電話にも使われることになるでしょう。何年にも渡って MIDIが新しい技術にうまく適合してきたことは驚くに値します。

MIDIの将来を予測することは大変難しいことです。なぜなら、新しいMIDIを開発するためには多くの組織力とチームワークが要求されるからです。非常に多くの会社が関与したとしても、大変時間のかかるものになるのではないのでしょうか。しかし、MIDIはバージョン1.0のままでも、99%適用し続けて行けると思います。何しろコンピューター環境においては、MIDIは「バーチャル」で機能するため、スピードの制約が全く無い訳ですから。

AMEIとMMAに対して、MIDIの取りまとめの仕事が続けていることに感謝したいと思います。これは非常に重要な仕事であり、これからの20年におけるMIDIの歩みも楽しみにしています。

米国カリフォルニア州セントヘレナよりデーブ・スミス

記念イベント目的

MIDI規格1.0 が制定され具体的にMIDIを組み込んだ商品が市場に登場以来丸20年経過した現在、関連する業界が中心となってこの快挙を振り返り、MIDI規格自体の今後の更なる発展と幅広い応用において推進して行くために関連業界の協力の下に、今年度の楽器フェアの開催とも歩調をあわせて、且つ今後の更なる積極的な他業種への応用展開及び啓蒙活動を促す意味でいくつかの活動を計画し年間を通じて、運営実行する。

・・・ 具体的イベント内容 ・・・

- 1) MIDI誕生20年記念懇親会の開催
 - ・ 5月開催予定の第7回AMEI通常総会の後、総会懇親会と合体して実施する
 - ・ 過去、現在、未来のMIDI関連事業者・功労者を幅広く招待する
 - ・ 規格制定20周年記念 会報(特別号)(関係者インタビュー)の発行
- 2) "MIDI 20年記念ロゴマーク"の設定と活用
 - ・ ステッカー等を制作、又各種AMEI印刷物に使用、楽器フェア等の展示表示に活用
- 3) MIDI誕生20年記念シンポジュームの開催
 - ・ テーマ: "MIDIの新たな活用・応用"
 - ・ 楽器分野を超えた新次元分野への応用の可能性と挑戦、その為には
 - ・ 異業種各分野からパネラーを人選する
- 4) MIDI規格書の最新版をCD-ROMで出版及びコンシューマー向けMIDIガイドブックの出版
 - ・ 会員企業対象への販売
- 5) MIDI歴代代表楽器の展示・デモ演奏の実施(楽器フェア内)
 - ・ MIDI Software Sequencerの展示とデモ
 - ・ MIDI Vintage Modelの展示、解説、デモ演

MIDI誕生20周年記念
MIDIシンポジューム

主催 社団法人音楽電子事業協会
後援 経済産業省 総務省 文化庁
日本経済新聞社
社団法人 日本音楽著作権協会
NMRC加盟各団体
(上記予定)

開催目的

MIDI誕生20周年記念事業の一環として企画し、MIDIが活用されている現状を広く認知していただくと共に、今後のMIDI応用商品の発展進化を方向付け、AMEIの存在価値を高めていく事を目的とします。

開催概要(1)

開催予定日時
2003年7月××日13:00~17:30

開催予定会場
現在交渉中

募集予定人数.....300名

参加予定会費.....7,000円

開催概要(2)

第一部 記念講演
テーマ
「MIDI誕生に至る経緯とその背景」(1983)

・社団法人音楽電子事業協会 顧問
・ローランド株式会社 特別顧問
・(財)ローランド芸術文化振興財団 理事長
榎 祐太郎氏

開催概要(3)

第二部 基調講演
テーマ
「次世代MIDI商品への期待」

・メディアアーティスト
・東京大学先端科学技術研究センター
特任教授 岩井 俊雄氏

開催概要(4)

第三部 今後期待されるMIDIの活用事例

- ・ ロボット
- ・ カーナビゲーション
- ・ Mobile
- ・ 電子楽器
- ・ 総括

NAMMビジネスツアー

(社団法人音楽電子事業協会 事務局長 神川信郎)

第6回 MIDI規格委員会主催、NAMM2003ビジネスツアーは、15名の参加協力を得て、1月15日から1月21日まで、米国NAMM Winter Marketの視察、MMA (MIDI Manufacturers Association) との会議開催及びMMA総会への参加を目的に催行されました。

2003 NAMM International Music Marketは1月16日から4日間に渡り開催され、出展社数 1,311社 (前年比+9%)、展示面積50,400㎡、入場者数67,601名 (前年比+4%) を記録しました。

また今年のAMEI/MMA Joint meetingはショー3日目 (土曜日) のショー終了後マリオットホテルの会議室で行われ、これまでの全ての保留事項について相互の確認が行われました。



NAMM2003ビジネスツアー参加者
(成田国際空港にて)



ツアー最終日
(ディズニーパラダイスピアホテル前にて)

1. ウィンターNAMM2003に参加して



(日本シンセサイザー・プログラマー協会
副理事長 氏家克典氏 にレポートして頂きました)

2003年1月15日～21日にロサンゼルスで開催されたウィンターNAMMに参加してきました。

実は今年にはMIDI生誕20周年記念にあたる年でして、欧米でのMIDIに関するライセンスや取りまとめをしているMMA (MIDI Manufacturers Association) が今回のNAMMでイベントを行う旨の情報があり、日本シンセサイザー・プログラマー協会 (以下JSPA) として視察を兼ねての参加でした。JSPAとして計画している今年のイベント (シンセサイザーフェスタ2003) にもMIDI生誕20周年というキーワードはコンセプト的にも合致し、AMEIと共同で運営展開しているMIDI検定にも深く関係する意味もあり、興味深々でMMAのブースを探しました。会場入口では有名キーボーディストの名前が列挙されたMMAのサイン・ボードがあり、(写真1) 大いに期待しましたが、実際のMMAブースでは各楽器メーカーからシンセサイザー、電子ピアノ、ソフトウェアを提供してもらい、それに著名キーボーディスト (チック・コリア、リック・ウェイクマン、ジョー・ザビヌル、ヤン・ハマー等) の直筆のサインが書かれた色紙付でオークションをしており、結構いい値段がついていました。(私が見た時にはトライトン・スタジオ88鍵が\$4000でした。最後にはきっと\$5000ぐらいまで上がったことでしょう～未確認) で、そのオークションの収益で年内に大規模なイベントを行うとのことですが、未だ詳細は未定だそうです。



写真1 MMAのサイン・ボード



写真2 MIDI 生誕20年間の年表

またブース内ではMIDIに関する生誕20年間のトピックスを分かりやすく年表にしてまとめたパネルが展示されていま

した。MIDIの歴史的な重要ポイントが正確に把握されており、ぜひ日本語版をAMEIで制作していただき楽器フェアなどで展示して頂きたいと思います。

さて、各社のシンセサイザーやソフトシンセに目を移すと、大量に新商品が発表されていました。

ソフトウェア分野で特に印象的だったのはOSXに対応したソフトウェアがかなり増加している点です。各種音楽ソフトウェアのOSXへの移行は紆余曲折がありましたが、やっとOSとMIDI、オーディオ・インターフェイス回りの企画 (CoreAudio、Coremidi) が統一され始め、音楽家が安心してOSXに移行できる環境が整ってきたといえるでしょう。ソフトシンセも、本物指向のモジュラー型ビンテージ・シンセサイザーのリバイバル物やサンプラー、ボコーダーなど更にハードウェアを凌駕しそうな商品が多数発表されていて、非常に活気に溢れていました。それに対してハードウェアは、フィジカル・コントローラとしての完成度を追及したものや、新しい音源方式を提案しているメーカーもあり、私のような弾き手やクリエイターの興味をくすぐる斬新なものが多数発表されていて、充分楽しめました。



また、変わったものでは、ハードウェア・シンセサイザーの形をしていながら、中身はソフトシンセをインストールしてあるパソコンと各種インターフェイスが合体しているものがあり、一見力技ではありますが、ありそうで無かったその斬新なアイデアには大いに興味しました。(写真3)

今後もハードウェアとソフトウェアは色んな意味で融合が加速するであろう事を、身をもって実感することができました。

さてNAMMでの重要なエンターテイメントの一つに、有名アーティストのコンサートがありますが、今年はエルトン・ジョンのトリビュート・ライブがアナハイム近郊のスタジアムで開催されました。最後に登場したエルトン・ジョン本人はもとより、レイ・チャールズ、マイク・マクドナルド、Take 6、ノラ・ジョーンズ、ブライアン・ウィルソン等超有名アーティストの面々が往年のエルトン・ジョンのヒット曲を独自の素晴らしいアレンジで演奏、歌唱し、小学校時代より聴いていたエルトン・ジョン大ファンの私にとって、歓喜、涙モノの大満足なコンサートでありました。

2 . 2003NAMMビジネスツアー報告

(社団法人音楽電子事業協会 技術担当部長 平野勝彦)

NAMMショーの中でのMMAの活動状況

初めに今回のNAMMショーの特記事項としては、MMAが初めて自己のブースを会場のホール“E”の一角に設けて、彼らの企画した“MIDI規格誕生20年記念”として独自の企画を組んで会長のTom White自身が先頭になってブースに立ち来場者に対応していた事を報告します。



この中ではMIDI誕生20年を掲げた著名アーティストの使用・記念サイン入り商品のオークションがアメリカらしい企画であったと思います。

その他にも、MIDIの歴史に関連した年表等も大きく展示されMMAとしては精一杯MIDIの活用とその歴史の重みをユーザーに知らしめようと努力していたことが良く伺えました。視察者の中でも話題になっていたように感じました。

MMAの主催したオークションの結果について主催者のTom White氏からの報告では、今回のMMAとしてのブース展示についてはMMAの一般入場者への認知という視点ではオークションを含めて成功したと判断しているようです。このオークションでの売上げ総額は約\$20,000であり、諸経費分をさし引いてほぼ半額\$10,000程度の収入であると報告を受けました。

又、オークションの結果について彼は、NAMMショー自体がディーラー対象でありやむを得ない結果であるとの見解です。又オークション自体の実施方法等についても今回の方法がベストではなかったとの反省をしていて、改善の余地はあるとの見方です。

MMA / AMEI合同会議について

NAMM時の恒例となっている会議が、1月18日土曜日のショー終了後マリOTTホテルの会議室で行われました。参加者はMMA側からはTom/W会長他7名、AMEI側からは6名が参加されました。



この会議では、これまでの全ての保留事項について相互の確認がされました。

双方での確認事項は以下の通りです。

これらの各項目についてはAMEI側で個別に1点づつ片

付ける必要がありますので委員会・部会で具体的な対応をすべく準備するように関係者のご協力をお願いします。

相互確認事項一覧：

- | | |
|------|--|
| #092 | New MIDI Imp Chart |
| #155 | AMT Document |
| #164 | MIDI Watermarking |
| #168 | 1394-MIDI v1.1 |
| #169 | Loop/Branch in SMF/XMF |
| #172 | Bank Mapping |
| #174 | Note,Patch & Cointrol Names in XML |
| #179 | Mobile DLS |
| #180 | MIDI+Audio in XMF |
| #181 | DLS 2.2 |
| #182 | XML Name Enhancements & Clarifications |
| #183 | Unified Audio Plugins |
| #184 | SP^MIDI Authorring Guidelines |

MMA総会

NAMM最終日1月19日(日)9時からAnaheim Marriot Hotelにて恒例のMMA総会が開催され、我々AMEIスタッフも傍聴する機会がありました。決定事項としては次の通り。

改選後の新役員：

- President/CEO: Tom White (継続)

- Tech S/Board:

Rick Cohen, Robert Lee, Tom Savell, Bennett Sikes, Rob Rampley, Chris Grigg, David Miller



- Board Members:

Bob Star, Athan Billias, Dan Brown, Denis Labreque,



決議事項：

TSB Item 177 とItem 178についてMMAとして採決決定された。

今年のショーも例年通りAnaheim Convention Centerで4日間実施されました。

今年のNAMMで特記すべき点の一つはショー2日目にNAMM協会とヤマハとの共催でElton Johnのコンサートが企画され、演奏会はNAMM会場から車で10分ほどのArrowhead Pondという1万数千人収容という大型のアイスホッケー球場で行われ楀状の大ホールが観客で埋まっていました。

ショーはEltonの他にもRay Charles等多くのゲスト出演がありバラエティーに富んだ大変楽しいコンサートとなりました。



3 . NAMM2003 (InternationalMusicMarket) ツアーレポート

(株式会社フェイス 稲生 裕二氏 にレポートして頂きました。)

2003年1月15日から19日まで、MobileMIDI部会の一員としてNAMMInternationalMusicMarket2003ビジネスツアーに参加いたしました。最近、私は携帯端末関連に携わることが多いので、このような楽器全般に渡るイベントに参加でき、非常に興味深い体験となりました。

ロス空港に到着した初日、会場であるアナハイムに向かう途中、全米最大の楽器店として有名なハリウッドのギターセンターへ立ち寄りスケジュールが組まれていました。

当日は、株式会社コルグ創業者の加藤孟氏(写真右)が、ハービー・ハンコック氏、(写真中央)ジョー・ザビナル氏(写真左)と共にロックウオーク(店の前の床や壁)に音楽に貢献した人々の証としての手形を残すという栄誉の受賞(押版?)式が行われていました。

音楽家や演奏家だけでなく、楽器を開発した方々にも平等に評価を行うという姿勢に対して感心したのと、「日本ではどうなのか」というところで少し考えさせられたところもありました。

翌日から会場であるアナハイムコンベンションセンターにてNAMMの視察を行いました。初めてNAMM会場を見た感想としては、月並みですが「とてつもなく広い」という事でした。

その広い会場に、こんなにもメーカーがあったのかと思うくらい多数の楽器メーカー、ソフトメーカーが所狭しと並び、日本の不況をしばらく忘れさせてもらえました。

地下1階から地上4階まで、エレクトリックなものからアコースティックまで、また、ソフトウエアや楽器のパーツ、PA関連やステージ照明装置に至るまで、音楽に関係が少しでもあるメーカーのあらゆる商品が展示されていました。ただ、ブース規模としては日本のメーカーも目立つ物が多く、この辺りは若干安心するところでした。ブースがここまで多い期間中に全てのブースを廻りきれぬのだからかと心配しましたが、案の定、実際に全てのブースを丁寧にみることは出来ませんでした。

各メーカーブースは、展示はもちろんのこと、デモ演奏ありノベルティー配布ありと色々趣向を凝らしたイベントが多数あり大変楽しく回ることが出来ました。

私も、moog社のブースにてムーグ博士のサインイベントの列に並んで、サイン付きバッグをゲットしたりと存分に楽し

んでしまいました。

ブースイベントで最も嬉しかったものは、私のお気に入りのコンポーザ/ピアニストであるDavidBenoit氏のデモンストレーションライブを見ることが出来たことでした。

偶然、メーカーブースの入り口のイベント案内看板を眺めると、今からと書いてあるではないですか!!ミーハーの如く握手や並んで写真を撮ったりと本当に感激してしまいました。

また、NAMMにあわせて、MMAとのミーティングが19日(AMEI/MMAMeeting)と20日(MMA総会)に開催され、今回の最も重要な目的として参加致しました。

内容としては、これまでの規格の細かい問題点の整理、議論と新しい規格についての協議になっています。変わった議題としては、「MMA」という名前自体がMIDIに限定したものであるということで、最近のデジタルオーディオなどを扱うにはふさわしくないという観点から「Audio」も含んだ名称を考えている模様です。

また、今年がMIDI誕生20周年にあたるので、様々な企画や計画もそれに合わせて考えているようです。

確かに近年はMIDIよりも、デジタルオーディオの分野での製品が活発になっている事を考えればやむを得ない流れと思われました。

MobileMIDI部会に関係する項目である「SP-MIDI」関連の議題では、細かい調整事項はまだいくつかありますが、仕様に関する事は規格がまとまってきた為、現状の必要資料として、コンテンツを作成する為のガイドラインが提案されており、この部分は当部会も関わっていくものと予想しています。他、「SP-MIDI」ではDLS(DownloadableSounds)の対応も検討されており、動きは徐々に活発になっていくのではという印象です。

AMEI側からは今回特に提案する議題等が無かった為、日本の最新端末を使つての、GML(GeneralMIDILite)演奏のデモンストレーションを行いました。MMAメンバーにも好評を得ることが出来幸いでした。

最後に今回のツアーでお世話になった、AMEIの神川さん、平野さん、MobileMIDI部会長の飛河さんを始めツアーに同行された皆さんに感謝の意を表します。

誠に有難うございました。

MIDIを理解し活用できる人材育成のための認定制度

コンピュータミュージックの共通ライセンス

「第5回MIDI検定試験3級」「第4回MIDI検定試験2級1次筆記」実施結果

主催：社団法人音楽電子事業協会
 協力企業：社団法人音楽電子事業協会 会員各社
 協力団体：日本シンセサイザー・プログラマー協会
 実施日：平成14年12月8日（午後1時より3級：午後3時より2級）

【「協力校&試験会場」全国74会場】

（東京・関東地区 16校・16会場）

アイデックスミュージックアカデミー
 音響技術専門学校
 東海学園神奈川情報文化専門学校
 菅原学園専門学校デジタルアーツ東京
 東京工科大学
 東京情報ビジネス専門学校
 東京スクールオブミュージック専門学校
 日本工学院専門学校
 日本工学院八王子専門学校
 日本電子専門学校
 パンスクールオブミュージック
 東放学園放送専門学校
 ミュージック・カレッジ・メジャー・ハウス
 ヤマハ音楽院
 東京ビジュアルアーツ
 横浜デジタルアーツ専門学校

（大阪・関西地区 6校・6会場）

大阪音楽学園キャットミュージックカレッジ専門学校
 (株)JEUGIA
 ディブスコンピュータミュージッククラブDEE
 総合学園ヒューマンアカデミー大阪校
 神戸電子専門学校
 ビジュアルアーツ専門学校大阪

（岡山地区 1校・1会場）

くらしき作陽大学

（島村楽器全国会場 36会場）

札幌、釧路、秋田、仙台、郡山、新潟、長野、松本、水戸、宇都宮、千葉、津田沼、大宮、新所沢、船堀、錦糸町、新宿、八王子、金沢、横浜、名古屋、鈴鹿、大津、三宮、京都、姫路、岡山、米子、広島、松山、高松、小倉、福岡、熊本、大分、長崎

（東海地区 5校・5会場）

大垣女子短期大学
 名古屋音楽大学
 名古屋芸術大学
 名古屋ビジュアルアーツ
 ryukei Music Net

（金沢地区 1校・1会場）

金沢科学技術専門学校

（東北地区 2校・2会場）

日本コンピュータ学園 東北電子専門学校
 菅原学園 専門学校デジタルアーツ仙台

（九州地区 3校・3会場）

専門学校九州ビジュアルアーツ
 福岡マルチメディア専門学校
 福岡スクールオブミュージック専門学校

（北海道地区 1校・1会場）

日本エンターテイメントビジネス専門学校

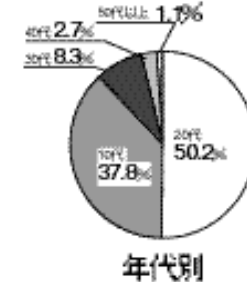
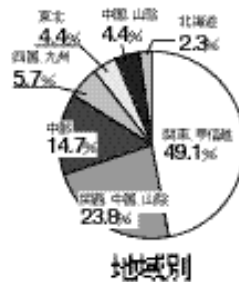
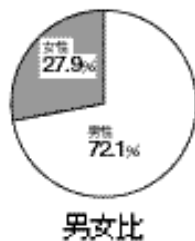
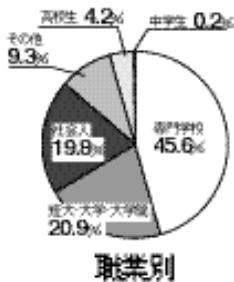
（広島地区 2校・2会場）

広島コンピュータ専門学校
 広島工業大学専門学校

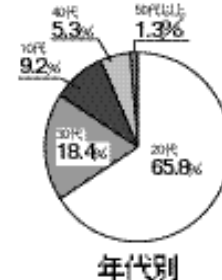
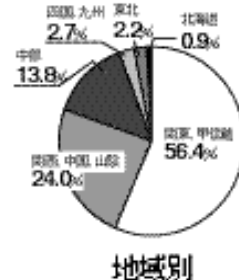
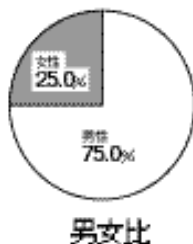
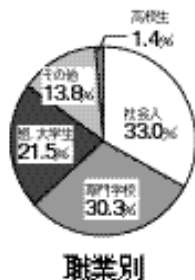
（新潟地区 1校・1会場）

新潟会計ビジネス専門学校

・総受験申込者：1871名 ・合格者：1342名（合格率71.7%）



・総受験申込者：391名 ・合格者：228名（合格率58.3%）



会員名簿（五十音順）

- あ**
株式会社アイ・オー・データ機器
株式会社アイシックス
アイデックス音楽総研株式会社
アカイプロフェッショナルエムアイ株式会社
株式会社アスキー
アップルコンピュータ株式会社
- い**
株式会社インターネット
インフォコム株式会社
- え**
株式会社エクシング
NECエレクトロニクス株式会社
N T Tコミュニケーションズ株式会社
N T Tビジュアル通信株式会社
株式会社エフオート
株式会社エム研
株式会社エムゾーン
株式会社エンターブレイン
- お**
伊電気工業株式会社
株式会社音響総合研究所
- か**
カシオ計算機株式会社
カモンミュージック株式会社
株式会社河合楽器製作所
- き**
株式会社キユーブ
京セラ株式会社
- く**
クラリオンソフト株式会社
クリムゾンテクノロジー株式会社
株式会社グリオ
- こ**
KDDI株式会社
- こ**
株式会社コルダ
コロムビア音響工業株式会社
- さ**
株式会社サイバード
株式会社サクセス
株式会社三菱ギガネットワークスカンパニー
- し**
株式会社シーティーエー
株式会社シーミュージック
- トフォン株式会社
島村楽器株式会社
株式会社JUGLA
学校法人 尚美学園
- す**
株式会社ズーム
株式会社給水楽器製作所
- せ**
セイコーインスツルメンツ株式会社
株式会社セガ・ミュージック・ネットワークス
- そ**
ソニーサウンドコミュニケーション株式会社
- た**
株式会社第一興商
株式会社タイトー
大日本印刷株式会社
株式会社タムラ製作所
- と**
株式会社トゥーカーセルラー東京
- て**
ティアック株式会社
株式会社テノン
株式会社電波新聞社
- と**
東映ビデオ株式会社
- て**
ニフティ株式会社
学校法人 片柳学園 日本工学院専門学校
日本シンセサイザープログラマー協会
学校法人 電子学園 日本電子専門学校
日本ビクター株式会社
- と**
ノキア・ジャパン株式会社
- は**
ハイオニア株式会社
- ひ**
ビクターレジャーシステム株式会社
- ふ**
株式会社フェイス
フォステクス株式会社
株式会社フエートレック
株式会社プリマ楽器
- ま**
松下通信工業株式会社
松下電器産業株式会社
- み**
三井物産株式会社
三木楽器株式会社
有限会社ミュージカルプラン
株式会社ミュージック・シーオー・ジェービー
株式会社ミュージックネットワーク
ミュージックノート株式会社
- め**
株式会社メガフュージョン
株式会社メロディーズ アンソ メロディーズ グローバル
- も**
株式会社モリタ楽器
- や**
ヤマハ株式会社
財団法人ヤマハ音楽振興会
ヤマハミュージックトレーディング株式会社
株式会社ヤマハミュージックメディア
- ら**
株式会社スーズ・ビーエムビーエンターテイメント
株式会社スーズモバイル
- ゆ**
株式会社ラグナヘルズ
- り**
株式会社リットーミュージック
株式会社リムショット
- ろ**
ローム株式会社
ローランド株式会社
ローランドミュージックスタジオ株式会社
- わ**
株式会社ワキタ
＜以上 正会員会社 68社＞
- ＜賛助会員＞
株式会社大阪村上楽器
株式会社博多工芸
株式会社ミュージックトレード
株式会社ラプラス
＜以上 賛助会員会社 4社＞



★ MIDI規格誕生 20年記念パーティのお知らせ ★

日時：5月13日（火） 18時～
社団法人 音楽電子事業協会総会後
場所：ホテル メトロポリタンエドモント
（ホテルエドモントが3月27日改名）
2F「万里の間」千代田区飯田橋3-10-8

- MIDIに過去・現在・未来に関連される方々（AMEI会員以外をも含め）を多数お誘い合わせ参加をお願い致します。
- AMEIで各専門委員会にてご活躍の方々、多数のご参加をお願いいたします。（上記の方々へのご招待状をお送りいたしますので、発送先をお知らせ下さい）（AMEI事務局まで：03-5226-8550）



MIDI20周年記念ロゴが3月19日開催された平成14年度第2回理事会で決定しました。
会員各社のご活用をお願いします。（ロゴのデータは事務局までお申込ください）